埼玉自動車大学校版

〒362-0806
北足立郡伊奈町
小室1123番地
048(723)5522

クラシックカークラブ
レストア活動開始

本校クラシックカークラブの活動として、過去に自動車車体整備科でレストアされた車両3台をメンテナンスして動態保存をしている。古い車両に触れることで現代の構造と異なる装置を学び、テストコースで走らせることで労りを持った運転も身に付けている。

今年度に入り部員が増えたことで車両が不足してきており、車両を探していたところ教材に役立てばと提供の申し出があった。提供主は日産のクラシックカー愛好団体の全日本ダットサン会の佐々木徳治郎会長で、車両は昭和55年式の日産サニー。長期間屋根のある所に保管されていた車両で、塗装面の腐食は少ないが不動状態のエンジン、ブレーキの固着等と再生が必要な部分がある。現在、走行させる目標を掲げ作業に取り組んでいる。クラブとして最初からレストアする活動は初めてであり良い経験になる。

プレミア教室開催

「プレミア教室」が9月7日、本校で開催された。このイベントは、企業や専門学校などが多様なテーマで開催する埼玉県後援の体験教室である。本校では抽選で10名の小学生を受入れ、「親子体験型自動車簡単メンテナンス講座」を実施した。車が大好きという子供たちとその保護者が集まった。参加者は、1号棟エントランスのカスタムカーやカットモデル、レストア車両に関心を示していた。体験教室では「タイヤの脱着」、「工具の使い方」、「自動車の検査」を実習形式で学び、車のメカニズムにも大いに興味を持ったようだった。「車ってカッコいい」「ますます車が好きになった」などの感想が聞かれ、保護者の方々にも整備士養成校の充実した設備と質の高い教育について知っていただく機会になった。

カブカップレース出場

二輪部は9月8日、富士スピードウェイのカートコースで行われた「2024カブカップ」(富士スピードウェイ主催)に出場した。このレースは、ビジネスバイクで全長520mのコースを周回走行する3時間の耐久レースで、本校はホンダの原付二輪スーパーカブ50ccで参戦した。学生7名がライダーとメンテナンス・タイム計測などのサポートを交代で行い、全員で力を合わせ大きなトラブルなく3時間を走り抜き、見事にクラス優勝した。出場学生全員が初の耐久レースだったが、各々が自分の役割を考えて走るという経験を通して成長できたことも大きな収穫となった。

テニスサークル
東京都専門学校夏季総合テニス大会(全国予選)出場

「東京都専門学校 夏季総合テニス大会(全国予選)」が8月20日~23日に千葉県白子町にて行われた。出場種目は団体戦、個人戦(シングルス、ダブルス)の計3種目にエントリーした。

試合結果は団体戦がベスト4に入り10月に北海道で行われる全国大会出場の切符を手に入れた。個人戦は各種目惜しくも予選敗退となった。全国大会出場は3年連続8回目となる。日頃思うように練習をすることは難しいが、10月の大会に向け限られた時間の中で質の良い練習をし、一つでも上の成績を残せるよう頑張りたい。

実習教材寄贈
~寄贈式実施~

本校の教育活動において、学生対象の新技術講習や教材提供など多くの後援会企業から協力を受けている。今回は、トヨタカローラ埼玉㈱から電動パワーステアリングの教材8セットの寄贈があった。

寄贈式は9月25日、4号棟実習場において実施した。企業からは本校卒業生を含む5名、本校からは職員と代表学生が出席し、教材は卒業生から在校生へ手渡された。式の中で、茂木祐喜常務取締役から社内には本校の卒業生が多く在職し活躍していると挨拶があり、新井和徳校長からは寄贈の御礼と卒業生を育てていただいていることへの感謝の言葉があった。寄贈された教材は早速実習に活用し効果を上げている。